

## 復興にマイクロファイナンスを活用せよ

花崎正晴

日本政策投資銀行設備投資研究所

### 被災者が利用可能な金融チャネルの必要性

今回の大地震および大津波で甚大な被害を被ったのは、東北および関東の沿海部である。道路、港湾、鉄道などの物的インフラストラクチャーや電力、ガス、上下水道などのライフラインが破壊されたのをはじめ、同地域に立地する製造業の生産拠点や流通業、商業なども多大な損害を受けた。

これらの復旧、復興自体が容易ならざるものがあるの言うまでもないが、今回の大震災で、同様に深刻なのは生活基盤を失った地域住民の問題である。とりわけ三陸海岸およびその近隣の市町村では、伝統的に漁業、養殖業および観光業を主要な産業として、漁師がコモンスとしての漁場を維持してきた。このような地域コミュニティでは、大津波により収入の拠り所が瞬時に失われたのをはじめ、家屋、学校、病院など日常生活の場の多くが、壊滅的な被害を受けた。また、放射能汚染の問題に起因して、福島県およびその周辺地域の多くの農作物生産者や酪農従事者が蒙った被害も計り知れない。

当面の復旧作業のあとには、地域住民の生活を如何に再建していくかという長くて険しい道程が待ち構えている。そのプロセスの中で、それぞれの個人あるいは家庭は、慣れ親しんだ地域にとどまり復興を目指すか、別の地域を探して移住するか、また漁業や農業などを今一度ゼロから再建するか、それらをあきらめて違う職業に従事するかなどの、極めて重苦しい選択を迫られることとなる。

そして、いずれの選択がなされようとも、その実現に向けて、公的セクター等による財政支援に加え、金融面での対応が必要不可欠となる。ある程度の規模の企業に関しては、危機対応融資などの制度の拡充や運用の適正化および弾力化等により、かなりの程度対応ができると思われる。しかしながら、個人向けあるいは零細事業者向けの金融は、既存の金融機関による業務の拡充では不十分であり、かつうまく機能しないであろう。なぜならば、銀行に代表される金融機関は、基本的には信用力の高い借り手には好条件のローンを提供し、信用力の乏しい借り手に対するローンは、条件が悪くなるものである。そして、今次災害の被災者の多くは、将来設計に不確実性が高く、多くの財産を散逸し物的担保が十分とはいえない。そのような被災者がローンを申し込んだ場合には、銀行などの伝統的な金融機関が、積極的に良質なローンを提供するインセンティブは決して高くはないのが現実であろう。

### マイクロファイナンスの導入を

そこで、マイクロファイナンスの導入および活用を提言する。貧困層向け小口金融としてスタートしたマイクロファイナンスは、いわば日本には存在しない全く新しいタイプの金融のメカニズムである<sup>1</sup>。

マイクロファイナンスの先駆けともいえるグラミン銀行の活動から、その特徴を一般的な銀行と対比させると次の通りとなる。

- 1) 一般的な銀行は、ローンを提供するに際して借り手の実績や資産を重視する。一方グラミン銀行は、借り手の潜在力に着目する。貧民を含めて人間は、無限の潜在力を持っているという信念がその背景にある。
- 2) 一般的な銀行は担保金融を基本とするが、グラミン銀行は担保を徴求しない。
- 3) 一般的な銀行は、市街の中心部に店舗を構えるが、グラミン銀行は農村地域に立地する。
- 4) 一般的な銀行は、借り手の返済が滞ると、デフォルトとして担保権の実行などの懲罰的な処理をするが、グラミン銀行はそのような場合には借り手を支援し単に返済スケジュールを変更するのみである。

マイクロファイナンスの主導者たちは、貧しい人々に、小さいながらも事業に取り組む機会を与えることによって、その潜在的な能力を開花できると確信していた。さらに、個々のマイクロファイナンスの積み重ねが、顧客の将来基盤を確立し、ひいては共同体のサステナビリティを高めると考えた。

マイクロファイナンスは、金融ビジネスの分野において、革命あるいはパラダイムシフトをもたらしている。それは、先進国における標準的な銀行モデルから派生したものではなく、低所得国における実験的な試みから、発展したものである。

今次の大震災からの復興プロセスにおいては、被災者や避難者から、事業資金、住宅ローン、教育ローンなど多様な資金ニーズが出されるであろう。その際に重要なのは、被災者の潜在的な能力や復興に向けての強い意欲や情熱を最大限に生かすという視点であり、その意味でマイクロファイナンスの理念に基づく資金提供チャンネルが導入されるべきであると考えられる。

---

<sup>1</sup> 日本においても、阪神・淡路大震災の後に地域企業の連携を基にして「神戸コミュニティ・クレジット」が展開された例がある。前田正尚「融資と社会環境問題」（『金融機関の環境戦略』、（社）金融財政事情研究会、2005年2月、第2章）参照。

## 参考：グラミン銀行の業務

### 社史

グラミン銀行は、バングラデシュの Chittagong 大学の地域経済学プログラムのヘッドを務めていたムハマッド・ユヌス教授が、1976 年に農村地域の貧民層向け信用供与システムの制度設計に関する行動研究プロジェクトに着手したのがはじまりである。グラミン銀行プロジェクトと呼ばれた当プロジェクトは、次の 5 つの目的のもとに運営されることとなった。

- 1) 銀行の各種機能を貧困層に拡張する。
- 2) 貸し手による貧困層の搾取を防止する。
- 3) 農村地域の多数の失業者に自営による雇用機会を創造する。
- 4) 最貧家庭出身の女性などに代表される恵まれない境遇の人々に、自立するための組織的な機会を与える。
- 5) 「低所得→低貯蓄→低投資」という悪循環を、「低所得→信用注入→投資→所得増→貯蓄増→投資増→所得増」という好循環に変換する。

1976 年に Chittagong 大学に隣接する村落ではじまったグラミン銀行プロジェクトは成功を収め、1979 年には中央銀行および国営商業銀行の助成を得て首都ダッカの近郊で実施され、さらにそののち全国のいくつかの地域で展開された。

このような成功により、1983 年 10 月にグラミン銀行プロジェクトは、政府立法に基づく独立銀行に改組された。今日では、グラミン銀行の株式の 95%は、銀行の借り手によって保有され、残りの 5%が政府保有である。

### 業務概況

グラミン銀行の業務の特徴は、次の通りである（2010 年 7 月時点）。

- 1) グラミン銀行は、通常の小口ローンに関して、一切担保を徴求しない。また、返済不能に陥った場合の法的措置も要求しない。借り手は、5 人からなるグループに入会する必要があるが、そのグループは会員に対するローンの保証をするわけではない。返済の責任は、偏に借り手個人にある。グループは、会員が責任ある行動をとり、返済が滞らないように監督する役割を果たすが、グループの会員達は債務不履行の会員に代わって債務を弁済する責任を負うわけではない。
- 2) 借り手の総数は 829 万人に達し、そのうち 97%が女性である。
- 3) 2,564 支店を有し、8 万以上の村落で活動し、従業員数は 22,653 人である。
- 4) 創業以来のローン累計額は 95.4 億 US ドル、そのうち 85.0 億ドルがすでに返済済みである。現在のローン残高は 8.94 億ドル、過去 1 年間のローン提供額は 12.79 億ドル。

- 5) ローン返済率は、97.29%に達する。
- 6) ローンの前資はすべて預金である。預金の過半（54%超）は、銀行の借り手から提供されている。預金-ローン比率は149%。預金が十分あるので、寄付金は受け入れない方針である。
- 7) 創業以来、3年次（1983、1991、1992年）を除いて、利益を計上している。2009年の収入は2.1億ドル、利益は538万ドルで、そのうち30%を配当している。
- 8) ローン利率は、公定利率よりも低く、4種類に分かれている。すなわち、事業ローンについては20%、住宅ローン<sup>2</sup>については8%、教育ローンについては5%、そして極貧の物乞い向けローン<sup>3</sup>では0%である。
- 9) 預金金利は、8.5%～12%である。

(2011年3月29日)

---

<sup>2</sup> 1984年にスタート。累計で68万戸の住宅が同ローンを利用して建設された。平均融資額は188ドル。

<sup>3</sup> グラミン銀行は、自立しようと努力している物乞いを支援するプログラム(Struggling Members Programme)に2002年から着手し、およそ11万人の物乞いが同プログラムの会員となり、そのうちおよそ2万人が物乞いから脱して自立した生活を送っている。

グラミン銀行のヒストリカル・データ（金額単位：百万USドル）

	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992
ローン累計額	0.001	0.006	0.026	0.21	1.31	3.37	9.63	194.95	21.83	38.33	56.51	83.04	124.16	179.35	248.08	322.43	459.37
ローン額	0.001	0.005	0.02	0.18	1.10	2.06	4.17	99.34	12.20	16.50	18.18	26.53	41.12	55.19	68.73	74.35	136.94
ローン残高	0.0003	0.004	0.016	0.12	0.83	1.17	3.03	72.07	7.10	8.69	10.09	14.94	23.17	31.02	38.60	44.43	83.06
住宅ローン金額	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.66	0.19	4.59	5.45	7.35	224.60	8.46	14.72
住宅建築数(戸)	-	-	-	-	-	-	-	-	317	1581	2042	23408	44556	67841	91157	118717	157334
預金残高	-	-	-	0.01	0.10	0.26	0.78	18.51	1.54	3.07	4.10	7.24	10.39	17.63	25.86	38.71	57.05
会員預金残高	-	-	-	0.01	0.10	0.26	0.78	18.51	1.54	2.76	3.76	7.10	9.14	12.94	16.51	26.68	36.34
会員預金比率(%)	-	-	-	100	100	100	100	100	100	90	92	98	88	73	64	69	64
グループ数	-	4	45	377	2935	4818	6243	11667	24211	34324	46869	67831	98073	132452	173907	213286	284889
会員数	10	70	290	2200	14830	24128	30416	58320	121114	171622	234343	339156	490363	662263	869538	1066426	1424395
女性会員比率(%)	20	14	24	41	31	39	39	46	56	65	74	81	86	89	91	92	94
対象村落数	1	2	4	17	363	433	745	1249	2268	3666	5170	7502	10552	15073	19536	25248	30619
支店数	1	1	1	6	24	24	54	86	152	226	295	396	501	641	781	915	1015
期間損益	-	-	-	-	-	-	-	-0.0059	0.0068	0.0008	0.0003	0.0003	0.0013	0.0022	0.0027	-0.0064	-0.15

	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
ローン累計額	725.39	1072.77	1405.94	1691.74	2062.96	2471.61	2792.00	3060.44	3347.98	3620.50	3986.46	4416.82	5025.61	5954.02	6685.51	7591.32	8741.86
ローン額	266.02	347.38	333.17	285.80	371.22	408.65	320.39	268.44	287.54	272.52	365.96	430.36	608.79	724.96	934.94	905.81	1150.54
ローン残高	157.56	198.33	206.44	213.54	233.01	253.95	216.38	193.26	194.18	196.81	258.10	312.96	415.82	471.19	529.53	646.05	791.82
住宅ローン金額	41.90	33.42	17.39	4.06	15.69	20.81	4.54	1.41	1.01	2.09	3.05	4.74	2.95	2.01	1.40	2.21	2.43
住宅建築数(戸)	258194	295702	331201	329040	402747	506680	511583	533041	545121	558055	578532	607415	627058	641096	650839	665568	679577
預金残高	79.49	103.11	117.56	125.14	132.27	115.21	122.52	126.78	137.92	162.77	227.66	343.52	481.22	633.31	756.61	933.89	1200.49
会員預金残高	68.69	85.17	99.83	90.83	103.98	103.27	112.54	100.54	68.58	126.17	170.61	228.70	306.10	390.48	430.39	508.20	648.68
会員預金比率(%)	86	83	85	73	79	90	92	79	50	78	68	67	64	62	57	54	54
グループ数	372298	412145	424993	433791	465384	486870	494044	503001	504651	513141	577886	685083	877142	1086744	1168840	1210343	1253160
会員数	1814916	2013130	2065661	2059510	2272503	2368347	2357083	2378356	2378601	2483006	3123802	4059632	5579399	6908704	7411229	7670203	7970616
女性会員比率(%)	94	94	94	94	95	95	95	95	95	95	95	96	96	97	97	97	97
対象村落数	33667	34913	35533	36420	37937	39045	39706	40225	40447	41636	43681	48472	59912	74462	80678	83566	83458
支店数	1040	1045	1055	1079	1105	1137	1149	1160	1173	1178	1195	1358	1735	2319	2481	2539	2562
期間損益	0.24	0.54	0.37	0.46	0.33	2.15	1.57	0.21	1.05	1.03	6.15	7.00	15.21	20.00	1.56	18.99	5.38